

尾張旭市第6期障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画

の策定に係るアンケート結果報告書等についての意見等及び回答

令和2年12月

(1) アンケート結果報告書について

自由形式で特別支援学校への要望がありました。この要望は県の教育委員会や瀬戸市の教育委員会へ届くのでしょうか？市民の方の意見が尾張旭市内だけでとどまるのはもったいない気がします。他所へ出す旨を知らせていないので、外部へ知らせられませんか？	今回のアンケートは、外部機関への提供を目的としておりませんが、このような御意見があることを認識して計画の参考とさせていただきます。
回収率の評価 (回収数1, 973件、回収率57.1%)	前回アンケートの回収率と比較すると、3.7%低下しております。 実効性のある計画とするには、当事者や関係者等からより多くの御意見等を頂戴することが重要ですので、少しでも回収率が向上するよう、次のアンケートでは設問数、内容、実施方法等を検討してまいります。
あさびあパスの改善、タクシーチケットの柔軟な使用法、スマイルチケットの不評、アンケート回答への負担に対する意見が目立つ。	各事業に対する御意見につきましては、その事業の課題であると認識しております。障がいのある方等のより良い支援につながるよう、頂いた御意見と事業の趣旨を踏まえながら、必要な改善を図っていきたいと考えております。

読むのも大変でしたが、まとめた方達はもっと大変だったろうと思います。気になったのは回収率の低さです。色々と理由はあるでしょうが、1つには設問の多さではないでしょうか。1年毎に実施しているのであれば、項目を削れるものがあるのではないのでしょうか。また、回答された方達の様々な要望、現実に少しでも対応できるよう気に掛けて頂きたいと思います。	実効性のある計画とするには、当事者や関係者等からより多くの御意見等を頂戴することが重要ですので、少しでも回収率が向上するよう、次回のアンケートでは設問数、内容、実施方法等を検討してまいります。 計画の策定に当たっては、アンケートで頂いた貴重な御意見を十分に踏まえながら、進めてまいります。
良かった思い、嫌な思いなどが本音で語られている事に共感しました。また、障がいの違いによって良かった思いや嫌な思いが異なるところもある事が分かりました。グラフに関しては、細かく分類されていて良かったのですが、網掛け部分が少し粗くて分かりにくかったです。	今回のアンケートの際は、頂いた御意見を参考にさせていただきます。
P25が少し見にくいですが、棒グラフの一番右側の数字は、「支援してくれる人はいない」ですか？小学生で「支援してくれる人はいない」は、どのように生活されているのでしょうか？	現実的に、児童が誰の支援も受けずに生活することは困難です。本人ではなく回答した保護者に対し「支援してくれる人はいない」と捉え回答しているものと考えられます。

(2) 過去の調査結果との比較分析

点数化して図表にされているものが、視覚的に捉えやすかったです。どの障がいがある人も全体的に見ると4期、5期、6期と満足度が高くなる傾向にあり、施策が受入れられていると感じました。個人的には、障がい児の教育や育成について、満足度の高いサービスではないと思っていますので、障がい児の親の優先度が高いその点に変化していくと良いと思っています。	障がい児の教育や育成について、前回から満足度が上がったとはいえ、まだ他の施策に比べ低い位置にあります。このような結果を認識し計画の参考とさせていただきます。
---	---

5期からの改善事項、課題に対する取組の評価	第5期障がい者計画・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の進捗状況や評価については、次回会議の資料として御提示させていただきます。
グラフは、だんだん本人も支援者も年を取って来ていることを示すものと私は受け取りました。障がい者が年を取れば、また、親も年を取り、親が見れなくなれば、兄弟、親族、あるいは施設等に預けざるを得ない現状を指していると思います。	当事者や介護者の高齢化は大きな課題の1つと捉えております。現在、障害者自立支援連携会議の部会の1つとして8050問題ワーキングチームを立上げ、検討を進めているところです。
身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、難病者については、少し改善されているように思われますが、障がい児については、まだまだ改善されていないことが良く分かりました。分かりやすいグラフでした。	満足度の平均は、前回より上昇していますが、特に優先度が高いものについて満足度が低い傾向が見られます。このような結果を認識し計画の参考とさせていただきます。
5 教育・子育て支援（障がい児）の項で、（1）園や学校、（2）希望する学習形態、（3）放課後等デイサービス、（4）卒業後の進路とありますが、児童発達支援についてデータを探られないのはなぜでしょうか？	児童発達支援をはじめ療育支援等については「13 障害福祉サービスについて」及び「14 障がい者施策について」の項において課題の把握を行うため、「6 教育・子育て支援（障がい児）」の項では、就園・就学後の課題や卒業後のニーズ等の把握を主眼にまとめました。次回の調査実施にあたっては、ご指摘の点を考慮して、児童発達支援の課題を明確にする設問を設定するとともに、「6 教育・子育て支援（障がい児）」でまとめる方法を検討させていただきます。

(3) アンケート結果のまとめと課題

教育の点で「インクルーシブ教育」が受入れられるかどうか個人差が大きそうです。「災害対策のようにやった方がみんなのために良いんだ」となりにくいと思います。慎重に進めていく課題だと感じます。	本市で実施している統合保育（サポート保育）は、健常児と障がい児が一緒に生活することで、互いに成長しあえる環境となっています。幼い頃からこのような環境で育つことで、子どもたちが「インクルーシブ教育」のもと、障がいのある子を当たり前に受け入れられる意識が育っていくものと考えています。
障がい児の範囲にあるうちから、手厚い施策を望みます。障がいがあっても、少しずつ成長していきます。取り巻く環境次第ではもっと伸びるのではないかと思います。	本市においても障がい児に対する各種支援やサービスが提供されています。御指摘のように、取り巻く環境が成長していくうえで重要であると認識しております。インフオーマル支援も含めた地域連携や各支援機関の横断的な連携を強化し、さまざまな支援やサービスを有効に活用していくのとよいと考えています。
尾張旭市独自の障がい者の施設（グループホーム、福祉工場等）を作ってください。	市が独自でグループホームや就労施設等を整備することは難しいため、民間の事業者が施設等を設立しやすいような行政支援が重要と考えております。
課題と対策が良く分かりました。	今回のアンケートから抽出された課題等を踏まえ、次期計画の策定を進めて参ります。

4 医療について、障がいのある人が安心して気軽に受診できるとありますが、「いくつもの病院に通わなければならない」の思いとして、いかに効率的にあるいは追加の薬を処方してほしいだけのと きなどは遠隔医療を推進してほしい等、具体的な改善策が求められていると思います。今はコロナで手帳の更新に係る受診も配慮されているのでありがたいですが、1 か月に何日も色々な病院に通うのは本当に大変です。	医療体制等に関することであるため大変難しい問題であります。障がいのある方等の負担軽減は重要だと考えますので、計画の参考とさせていただきます。
--	---

(4) その他、第6期障がい者計画等策定に関することについて

すぐくピンポイントな内容ですが、未就学児にサポート保育という制度があります。アンケートより、母親が就労していないので幼稚園にしか入れないとの回答がありました。市として大卒のサポート保育を始めても、その条件により利用できない市民の方がおられるのは残念だなどと思います。せっかくのサービスなので、細かな部分になりますが、対応できるような方法ができてほしいです。	保育園は、保護者の就労、病気、介護等により子の保育を必要とするご家庭が利用する施設で、サポート保育も同様の要件で利用調整しています。 一方、幼稚園は、保護者の就労等に関係なく利用できる施設です。幼稚園によっては、県の補助金を活用し、支援が必要な園児に対し積極的に支援を行っている園もあります。必要な支援が受けられるよう、子どもや家庭の状況などに応じて就園先を選択していくことが大切だと考えています。
情報発信の方法、頻度	市ホームページ及び市の広報誌を活用し情報発信を行っております。頻度については、必要に応じ、その都度掲載しております。
災害時の対応の横断的な仕組み作り	アンケートからも、災害時の対応は重要な課題の1つであると認識しております。横断的な仕組み作りも含めた災害時の対応についての検討を行うために、障害者自立支援連携会議のワーキングチームを立ち上げることを考えております。

市内の障害福祉サービスの充足度と必要なサービスの整備計画	障害福祉サービスの実績値等については、第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の進捗状況として、次回会議にて御提示させていただきます。
新型コロナウイルス感染症から見えた課題	他の自治体では、事業所の職員が濃厚接触者としてPCR検査を受けた際、陽性・陰性の結果が判明していない段階で、その事業所に感染者が発生したとの誤った情報が流れるといった事実がありました。 こうしたことから、市と事業所等との情報共有について課題があると考えております。
尾張旭市は歩く人にとっては、道がでこぼこしていて、歩道も狭く、ウォーキングには向いていないなと思います。道路の整備を少しずつでも進めて行ってください。	頂いた御意見については、計画の参考とさせていただきます。
国からして、福祉の予算がだんだんと削られる現状にあって、難しい事かもしれません。福祉計画の目標に少しでも近づけるよう、皆様に期待します。	次期計画に掲げる目標が達成できるよう、効率的・効果的な施策の推進を図ってまいります。

他の市の社会福祉施設を視察される事をお願いします。例えば、ある市では障がい者がいつでも気兼ねなく、卓球、カラオケ、料理、陶芸、手芸など一か所で行え、コミュニケーションの取れる施設があります。	先進自治体の取組を調査・研究しながら、取組を進めてまいります。
もう少し中身が薄くとも、確実に問題点や課題、それらに対する改善策が明確にでき、かつ、実行性のあるものをフォーカスしていった方が、個人的には良いと思うのですが。	3年という短い期間の計画となることから、注力する施策を精査する必要があると考えております。頂いた御意見を参考に、実効性のある計画となるよう検討を進めてまいります。
障がいと介護保険と医療保険の更新のための様式の共用化を図っていただけると、画期的だなと思います。	国が様式を定めているケースが多いため難しい問題ではありますが、障がいのある方等の負担軽減が図れるよう見直せる点がないか検討してまいります。